



Kodomo ni Ongaku wo

NPO法人 子どもに音楽を

ニュースレター 第61号 2020.1.15

新年おめでとうございます

発行: NPO 法人 子どもに音楽を

〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 1-2-9

TEL: 045-971-0050 FAX: 045-971-7487

E-mail: kodomonilagoon@lagoon.ocn.ne.jp

<http://www.kodomoniongakuwo.sakura.ne.jp/>

「ふだん通りに・・・」と演奏家

～ 特別支援学校での活動報告です ～

2020年、東京五輪・パラリンピックの年が明けました。

私たちの今年度の活動はこれまで26校、残すは3校。気を抜かずに頑張っています。



今回は去年12月に行った「さいたま市立ひまわり特別支援学校」での活動をご紹介します。

ひまわり特別支援学校は知的障害を持つ肢体不自由な児童生徒のための学校で、小学部から高等部まで合わせて52名が通っています。この学校での演奏活動は今回で2回目。演奏会は高等部対象の企画でしたが自分も聴きたいという子どもたちの声が多く全校生が対象になりました。

演奏家はヴァイオリンが川田知子さん、ピアノが小森谷裕子さん。

会場の屋内運動場には先生に付き添われた車いすや介護ベッドの子どもたちが体調と相談しつつ参加しました。

「ふだん通りに」・・・演奏家はゆっくりとした口調で曲目を紹介。最初は静かな曲からスタートし、優しく心にしみて且つリズム感のあるモーツァルトのソナタ、技巧的に難しい曲など普段のコンサートと変わらないプログラム。

「身体でリズム」・・・最初は声を上げていた子どもがいたが演奏がすすむにつれ、静かに聴いている様子。体でリズムをとる仕草を見せる子どもも多数いた。

「いつもと違う」・・・先生たちは「音楽は子どもたちを落ち着かせている。いつもと違う。集中している。とてもいい教育効果がある教材」と。



質問コーナーでは・・・「好きな食べ物は？」の子どもへの質問に「プリン」と川田さん。どっと笑う子どもたち。「焼肉」と小森谷さん。「私も好き！」と、子どもたち。楽しいやり取りでした。

演奏が終わると不自由な体で拍手するなど体全体で喜びを表す子どももいました。

演奏家は「静かでビックリ。喜んでくれているのが伝わってきた。このような場所で演奏できてよかった。」と感想を話していました。

「思わずヴァイオリンを弾いている感じになった」という子どもの感想がとても印象に残りました。